

親子聖書日課

NO.1971 2026.7/5-11

名前

[日]パウロは自分に与えられた権利(ローマの市民権)を用いました。それは自分の身の安全を守るためではなく、福音のためです。自分にしかできない伝道の場がありますから、自分の立場を有効に用いましょう。導かれる人が起こされます。

[月]「良心に従って神の前で生きる」とは、自分が正しいと思うことを行う生き方ではありません。御言葉に聴き従い、生活の場で実践して生きることです。「私の良心は神の言葉に捉えられている。私は良心に逆らっては行動できない」ルター

[火]主のために働く人は、大ピンチになっても恐れることはありません。不思議と助け手が与えられます。パウロにとっては、甥がそうでした。暗殺の陰謀から救われます。どんな境遇にあっても、主の守りと導きがあると信じて、前進しましょう。

[水]ファリサイ派は正しい者だけの復活を信じましたが、パウロは「正しくない者」もやがて復活するという希望を抱きました。良い行いをしたから天国に行けるのではなく、悔い改めて主を信じるなら、誰でも行けます。希望の福音を伝えましょう。

[木]パウロが裁判にかけられた時、皇帝へ上訴が認められ、主の約束通り最後はローマで証します。主は約束を実現する為、脱出の道を備えていますから試練に遭っても、絶望してはいけません。私達の人生にも脱出の道が備えられています。

[金]「単なる宗教の問題に過ぎない。死んだイエスが復活したそうだと、フェストゥスのように言う人がいます。そんなの迷信だ、自分には関係がないと言うのです。しかし、神の裁きの座に引き出され、裁かれる時がきます。罪とは、神との断絶です。

[土]復活の主に出会った人は、自分の救いだけで満足してはいけません。「救い出し…遣わす」17節とあるように、主を伝える使命が与えられています。「恵みの分け前」を独り占めしてはいけません。どんな機会も逃さず、主を伝えましょう。



	聖書	問題	答え
日	使徒言行録 22:17-29	パウロはローマ帝国の何を持っていましたか。	
月	22:30- 23:11	パウロはあくまで何に従って、神の前で生きましたか。	
火	23:12-35	この陰謀を誰が聞き込み、パウロに知らせましたか。	
水	24:1-23	正しい者も正しくない者もやがてどうするという希望を抱いていますか	
木	24:24- 25:12	パウロは誰に上訴しましたか。	
金	25:13-27	このイエスをどうしていると、パウロは主張しましたか。	
土	26:1-18	あなたを救い出し、彼らのもとにどうするとパウロは主張しましたか。	
感想と祈りの課題			